

予算決算福祉文教小委員会審査報告

平成 29 年 3 月 17 日

予算決算常任委員長 荒川 詔夫 殿

福祉文教小委員長 黒柳 博子

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等について次のとおり報告します。

記

事件の番号	付 記 内 容
議案第 19 号	平成 29 年度飯綱町一般会計予算中、 民生費、衛生費、労働費（シルバー人材センター運営事業） 教育費及び関係歳入

本小委員会では、上記付託案件について、担当課より詳細な説明を受け、活発な質疑を行いながら審査を行った。

次に、主な質疑、意見等について報告します。

第3款 民生費

□保健福祉課

質疑①：福祉医療費（世帯主）の対象者の内訳を教えてください。

回答①：H26 受給者 99 人 内訳 支給件数 147 件

H27 受給者 99 人 内訳 支給件数 171 件

H28 受給者 99 人 内訳 支給件数 135 件（3/10 現在）

（国保 89・社保 7・国保退職 3）

質疑②：結婚相談マッチングシステムの利用状況はどうなっているか。町の結婚相談所の状況や予算の内訳について教えてください。

回答②：県で開設しているシステム。町内で加入している人は 5 人位。入会費が 5,000 円かかってしまうため利用者が少ない。

町の結婚相談所では、成婚 1 組、お付き合い 2 組、予算の内訳は専任相談員の

人件費と拠点の借家代等である。

事業としては、女性の料理教室の開催、男性の身だしなみの講習等を行っており、今後、農業イベント等交流会を計画していきたい。

質疑③：マッチングシステムの利用率がよくないのは、周知の仕方が悪いのか使い勝手が悪いのか。

回答③：5,000円と料金が高いのも原因であると思う。町の相談所は無料。信濃町、新潟方面からも来ている。女性の入会者が増えている。新規に男性が6名増え31名、女性が6名増え14名となっている。

意見④：参考までに皆さん、勘違いしている。どうしたら家庭を築けるかが大切。嫁じゃなく婿取りを考えるイベントなど発想の転換も必要。

質疑⑤：臨時福祉給付金の対象者数は。

回答⑤：約1,700人。前は、催促通知を2回出している。受取者数も増え効果があがってきた。

質疑⑥：生涯活躍のまち推進事業で、タニタから見積は取ったのか。

回答⑥：事業内容を提示して見積額を取った。

質疑⑦：子ども食堂は、地域の方々とどうやって取組むのか。将来的なビジョンは何を目指すのか。

回答⑦：地域の関わり合いや協力をいただきながら自発的な活動になればよいと思う。高齢者や地域のコミュニケーションの場として提供できればと考えている。ネーミングも検討していきたい。

質疑⑧：補助の増額を考えてほしい。

回答⑧：参加人数によっては増額も検討していきたい。

質疑⑨：長野市だと、小学生の帰った後に中学生、高校生とか行っているが、どうか。

回答⑨：とりあえずは、小学生を対象としたい。今年度の実施状況をみて発展させてゆきたい。

質疑⑩：障がいの子供を、なるべく早い段階から啓発活動が必要だと思う。

親も受け入れがたいと思うが、能力を認め合う仕組み作りが必要である。

回答⑩：平成29年度障がい福祉計画の見直しや障がい児童福祉計画の策定を行うので考えていきたい。

質疑⑪：自動車改造助成費事業は。

回答⑪：緊急対応のため予算計上している。利用者はいない。

質疑⑫：乳児医療費の窓口無料化はどうなったか。他県の状況は。

回答⑫：県にあわせる。時期は就学前まで、500円の負担金は維持していく方向である。他県の情報は提供する。

質疑⑬：福祉医療で母子、父子は増えているか。

回答⑬：H26 母子の母 受給者 54人 支給件数 46件
母子の子 受給者 86人 支給件数 73件
父子の父 受給者 8人 支給件数 4件

	父子の子	受給者 12 人	支給件数 10 件	
H27	母子の母	受給者 54 人	支給件数 52 件	
	母子の子	受給者 86 人	支給件数 77 件	
	父子の父	受給者 8 人	支給件数 2 件	
	父子の子	受給者 12 人	支給件数 10 件	
H28	母子の母	受給者 54 人	支給件数 52 件	(3/10 現在)
	母子の子	受給者 86 人	支給件数 85 件	
	父子の父	受給者 8 人	支給件数 6 件	
	父子の子	受給者 12 人	支給件数 13 件	

保険の加入状況は

母子 140 人 (国保 51・社保 109)

父子 20 人 (国保 17・社保 3)

□住民環境課

質疑：なし

□教育委員会

質疑⑭：管外への委託保育は何名ほどを見込んでいるのか。

回答⑭：12 名である。

質疑⑮：管外からの受託保育は何名見込んでいるのか。

回答⑮：当初では、りんごっ子保育園に 1 ヶ月 1 名である。

質疑⑯：さみずっ子保育園の予算額は、平成 28 年度は 12 月から 3 月までであることから、概ねその 3 倍ということによいか。

回答⑯：そのとおり。

質疑⑰：三水保育園と赤塩保育園が統合しての金銭的なメリットはどのくらいになるか。

回答⑰：運営費全体では、三水保育園の床暖房が平成 23 年に故障して使用できない状況から、平成 22 年度まで遡らないと比較できない。

質疑⑱：そこが重要と思うが、統合してのメリットの一つは園児が数人よりももっと大勢の中で育つ方が良いということ。子どもを育てるにはそれもメリットだが、金銭的なメリットも出さなくてはいけないのでは。

回答⑱：統合したことで保育士が 1 名減る程度で、園長は平成 26 年度から既に兼務している。単純な比較では光熱水費となるが、赤塩保育園は合併浄化槽のため下水道料金がかからないためその分は増となる。電気、ガス、燃料代については平成 18 年度から 22 年度の決算の平均をベースにすると、平成 29 年度予算との比較では年間 50 万円ほど減であるが、下水道料金が年間 15 万円ほど増になるため、結果的には 35 万円ほどの減である。

質疑⑲：加配保育士を 2 人ずつ配置していたが、2.5 人位で済むなどの金銭的なメリットがなければいけないと思うが。

回答⑱：加配保育士については、診断があった子どもについては専属で1人配置しているため、統合しても各年度の子どもの状況により変動する。今回は、赤塩保育園の年中年長のクラス担任が1名減る程度だが、未満児や配慮を要する幼児が増えてきているため保育士の人数は変わらない。

意見⑳：町民も注目しているが、2つを統合して1つにしたら経費が下がるという比較表をつくってほしい。

回答㉑：老朽化した施設の大規模改修や建替えて維持することを考えると、比較にならないほどの差がある。また、2つを1つにした場合の比較は、今単純には出来ない。

質疑㉒：資料は出せるか。

回答㉒：平成18年度から22年度の決算ベースでの平均額と、平成29年度の決算額との比較であれば決算額が出た時点で可能。

質疑㉓：南部保育園の3歳以上児の保育室前にあるテラスの修繕について、説明では鉄骨が腐食して危険ということだが、本来塗装をしっかりと行っていれば腐食することはない。維持管理の難しさを考えると鉄骨よりアルミで改修した方が良いと思うが。

回答㉓：予算は鉄骨の見積金額となっている。工事実施の際に検討したい。

質疑㉔：臨時職員の賃金が多いが、賃金は増えているのか。

回答㉔：配慮を要する幼児が増えているため徐々に増えている。

質疑㉕：臨時職員や嘱託職員は、その賃金で生活していけるのか。正規職員として雇用すべきではないか

回答㉕：賃金改善はしていくが、財政事情や職員の定員管理があることを理解願いたい。

質疑㉖：南部保育園とりんごっ子保育園の嘱託・臨時保育士について、職員数は同じだが賃金に差がある。その理由は。

回答㉖：嘱託職員は勤務年数により賃金が改訂される。

質疑㉗：歳入の関係で、保育料の滞納があったと思うがその後どうなったか。

回答㉗：滞納額は減っている。

質疑㉘：放課後児童クラブの件で、平成30年の小学校統合に向けて計画がしっかりできているか。

回答㉘：現在5つある児童クラブは存続していく予定である。ただ、牟礼西児童クラブについては施設が老朽化しているため、統合後牟礼西小学校の一部を改修して利用していければと考えている。

質疑㉙：保育園の歯科検診を行った際、治療の必要な方には通知をしているが、治療が済んだあと証明書等の報告があると思う。治療済の割合は把握しているか。なぜかという、貧困が理由で医者にかかれない世帯があるかも知れない。

回答㉙：保育園では治療の必要な方への通知は行っているが、治療済みの報告はないため把握していない。

質疑⑳：予算の提案説明書に病後児保育の施設改修費が計上されているが、どこで行うのか。

回答㉑：西黒川の教員住宅を第一候補としている。

質疑㉒：定員は。

回答㉓：2名程度を予定している。

第4款 衛生費

□保健福祉課

質疑①：食育推進事業の実施場所はどこか。

回答①：各地域で講習会等を実施している。

意見②：自身の地区でも数年前に実施したが、継続して実施しなければ、食育は広まらないのでは。各地区でぽつぽつと実施するより、一つの所で集まって実施した方が良いのではないか。

回答②：担当者に伝え、検討する。

質疑③：料理教室と結婚相談を連動して一緒に実施してはどうか。

回答③：今後、検討する。

質疑④：子ども食堂についても料理教室と連動して実施してはどうか。

回答④：栄養は大事であるため、検討する。

意見⑤：年に1回や2回ではなく、継続して研修を受けなければゲートキーパーにはなりきれない。

回答⑤：保健補導員には年に2回受けてもらう予定でいる。併せて対象者を広げて実施したい。しかし、内容が自殺対策ということで、参加者も集まりにくい現状がある。実施することに意義があるため、今後も実施していく。

質問⑥：全国の自殺者は3万人といわれ、長野県も多い。原因がわからないと対策が打てない。原因を把握して、原因に応じた対策をしてはどうか。地区や年齢を考慮して講習会を開催してはどうか。

回答⑥：これまで、原因を反映させてゲートキーパー養成講座を実施したことはない。原因や特徴を考慮して講習を実施したい。

質問⑦：睡眠や食欲といった着目点があり、専門家につなぐことがゲートキーパーの仕事である。そういった方が増えるのはよいこと。議員も対象に実施した方が良いと思う。多くの人に学んでほしい事を考えると、健康管理センターでは狭いのではないか。会場の検討を。

回答⑦：内容が内容なだけに、なかなか参加者が集まらない現状があり、参加人数が読めない。今後も広く声をかけて、できるだけ多くの方に集まってもらえるようにしていきたい。また、ゲートキーパーという人がいるということについても啓発していきたい。

質問⑧：大腸検診、胃検診はどんなことを行うのか。

回答⑧：大腸検診は2日分の便を摂り、血液が混じっていないか検査するもの。胃

検診はバリウムを飲んでのレントゲン検査。

質問⑨：ピロリ菌検査は実施しているか。

回答⑨：実施していない。

質問⑩：昨年度のシステム変更に伴い、2年連続して住民人間ドックを受診できる人がいたが、来年度からは1年おきの受診となるか。

回答⑩：その通り。

質問⑪：高齢者肺炎球菌予防接種について開始年度からこれまでの接種率は。

回答⑪：平成26年度 66.0%（10月から実施） 平成27年度 56.8%
平成28年度 52.4%（2月までの実施分であり未確定）

質問⑫：ポリオとはどういう病気か

回答⑫：小児麻痺である。

□住民環境課

質疑⑬：『公害対策費』の水質検査の業務委託について、年何回行なっているか。

回答⑬：霊仙寺湖は4月～11月までの年8回。他は年2回ないし3回実施。

質疑⑭：データの公開について。

回答⑭：行政報告で一部公開をしている。詳細情報については情報公開で対応する。

質疑⑮：鳥居川の検査はこの業務委託の中に入っているのか。

回答⑮：入っている。

質疑⑯：『保健衛生総務費』の修繕費に該当するのは。

回答⑯：公用車2台（2tトラックと犬用軽トラ）の車検代。

質疑⑰：浄化槽設置については。

回答⑰：下水道事業が担当である。

質疑⑱：町民会館のトイレの管理はどこが行なうのか。

回答⑱：施設設置者の生涯学習係で担当している。

質疑⑲：可燃ごみ集積所の巡回は平成29年度も行なうか。

回答⑲：全箇所は無理だが、可燃ごみの状況を確認するため、状況に応じて行なう。

質疑⑳：生ごみの水切りの徹底についてお願いしたいが、どのように計画されているか。

回答⑳：今年は衛生組合長が大きく変わったので、出前講座等で周知をしたい。一人1日30gの減量で年100tの減量になる。

意見㉑：庁舎玄関の小型家電置き場について。玄関は町の顔でもあるので、他の場所に変えてはいかがか。

回答㉑：テレビ等違反ごみを持ち込む人もいるので、監視のために今の場所にした。

意見㉒：係が責任を持って置き場所をきれいにしてほしい。

質疑㉓：信濃川を守る会協議会負担金はどう使われるのか。

回答㉓：信濃川沿いの市町村で構成され、事務局は長野市。

毎年5月と10月に千曲川のゴミ拾いを行なうが、ごみ処理に使用する。

質疑㉔：『長野広域連合地元対策負担金』の算出方法について。

回答⑭：9割がごみ排出量割で、1割が人口割で決まる。

質疑⑮：地元対策に資する事業とは。

回答⑮：地域公民館、公園、道路改修事業などで、対象としない事業は迷惑料等の現金による支援事業、一定の期間を経過した事業である。

質疑⑯：春秋のボランティアによるごみ拾いの費用負担は。

回答⑯：可燃ごみ、資源ごみに分別し、その処理は町の予算で行なう。

第5款 労働費（シルバー人材センター運営事業）

質疑①：総合事業にも取り組んでいくということだが、人員は増える見込みか。

回答①：増えていくと思う。

質疑②：会員は、人材活用センター、助っ人組合にも入っているのか。

回答②：入っていない。

第10款 教育費

質疑①：ALTは長野県の人か。飯綱町にはいないのか。

回答①：ALTは、アメリカやイギリスなどの外国人で、現地の生きた英語を教えることが大切であることから飯綱町や長野県の人ではない。

質疑②：インタラックの会社はどこにあるのか。

回答②：本部は東京

質疑③：飯綱町に在住の人ではいけないのか。

回答③：ALTは、ネイティブスピーカー（標準語を話す人）の生の英語を教えることを目的としていることから、その専門の会社に委託している。

質疑④：地元の人を雇用したほうがいいのではないか。

回答④：そのような人が飯綱町にいれば検討したい。

質疑⑤：はぐくみサポート事業で、障がいについての知識の啓発を早期に保護者などに行って欲しい。住民の中でも発達障がいに対する認識が低いため、その内容を知ることによって受け入れやすい環境になると思う。その辺を考えて事業展開して欲しいが、どう考えているか。

回答⑤：どうやったら皆さんに講演会や研修会に来ていただけるのかが一番の課題である。この間も人権を守るまちづくり講座で山脇先生の「子ども社会のいじめ」に対する講演会があったが、保護者の参加が少なかった。保育園でも家庭教育学級を行っているので、そこで発達障がいについての講演などを行うことを考えていきたい。また、はぐくみサポート事業でも講演会を行っているが、学校の先生や保育士のみで、保護者の受講まで繋がっていない。

質疑⑥：はぐくみサポート事業では相談は無料か。

回答⑥：無料。

質疑⑦：教員住宅は、現在14棟あるが全部使用しているのか。

回答⑦：空き住宅が2棟ある。

質疑⑧：加配の先生で、第二小の音楽専科と東小の理科支援員の賃金の差は何か。

回答⑧：音楽専科は、県の教員配当基準から県費対応とならないため町費で雇用し担任教諭と同じ扱いをしている。また、理科支援員は担任教諭ではなく、理科の授業の準備や片付けをすることから賃金に差がある。

質疑⑨：準要保護児童とはどういう児童か。

回答⑨：要保護と準要保護があつて、要保護は生活保護世帯の児童、準要保護は生活保護とまではいかないが、それに準じた世帯の児童である。

質疑⑩：遠距離通学の補助基準はあるのか。

回答⑩：通学距離が4 km以上の児童が対象となる。

質疑⑪：牟礼東小学校の体育館屋根の改修だが、これまで何度も修繕をしているが当初の設計が悪かったのではと思っている。今回の改修の設計はどうなるのか。

回答⑪：具体的な設計はこれからだが、純粋に雨漏りのない設計を考えている。

質疑⑫：予算の提案説明書に牟礼東小学校にスクールバスの車庫新設工事とあるが、三水第一小学校にスクールバスの車庫はいらないのか。

回答⑫：三水第一小学校については、今年度整備するさみずっ子保育園の車庫を活用する予定。

質疑⑬：牟礼東小学校の駐車場の駐車台数は、当初130台を予定していたが100台になった。今後も駐車場の整備をしていくのか。

回答⑬：今回の駐車場整備は平成30年の統合に向けて行うが、その状況を踏まえて今後対応を考えていきたい。

質疑⑭：駐車場の整備に併せて、小学校西側の町道と県道の交差点の安全対策について、どのような対策を考えているのか。

回答⑭：整備する駐車場は残土を入れて現道と同じ高さにする計画で、道路幅は少し広がるが県道との交差点は今回の工事では解消は難しいので、建設水道課にお願いしていきたい。

質疑⑮：加配の関係で、小中学校合わせて26人だが、この人数は同じ規模の学校と比べてどうなのか。

回答⑮：学校の先生方に聞いたところ、飯綱町は加配の職員に手厚く非常にありがたいとのこと。また、信濃小中学校も同じくらいの加配となっている。

質疑⑯：飯綱中学校で太陽光発電をしているが、その検査はしているのか。また、年間の発電量はどのくらいか。

回答⑯：検査はしていない。発電量は以前に調べたが、今はわからない。

質疑⑰：30年くらい経てば、設置費用に比べてどれくらいの効果が出るのか。

回答⑰：あまり効果は期待できないが、学習用として活用している。

質疑⑱：いづなスタイル構築事業は、町の歴史・文化等の副教材を作成することだが、パソコンの中にソフトを入れることはできないのか。

回答⑱：飯綱町のキャリア教育構築のため、町の歴史や文化等をまとめた副教材を作成し、授業で活用していきたいと考えている。先生と連携して作成してい

くが、DVDなども検討していく。

質疑⑱：歯科検診でむし歯があった場合、治療した結果は学校で把握しているか。

また、治療率はどのくらいか。

回答⑱：治療が完了した場合は証明書を学校に提出しているが、治療率は出していない。

質疑⑲：1本館27分館とはどこか。

回答⑲：本館は飯綱町公民館、分館は牟礼地区で23分館、三水地区で4分館である。

質疑⑳：三水地区を組単位で分けられるか。

回答⑳：各組で分館長以下役員を選出できれば可能。

質疑㉑：ホールの移動観覧席PLC交換工事とは。耐用年数は。

回答㉑：可動席のコントロールユニットで、耐用年数は5～7年。今27年経過している。

質疑㉒：運動場管理運営費の範囲は。

回答㉒：ふれあいパークの野球場、運動場、テニスコート、ゲートボール場、小中学校の体育館、グラウンド、三水ゲートボール場、マレットゴルフ場、日向センターである。

質疑㉓：体育協会の補助金は入っているか。

回答㉓：社会体育活動育成費に体育協会、スポーツ少年団、スポーツクラブの補助金が入っている。

質疑㉔：政治目的で町民会館が借りられないと聞いたが。

回答㉔：以前はあったかもしれないが、条例の禁止事項ではないので現在は貸出している。

質疑㉕：米飯給食に使用する米が9,700kgとあるが、食されている量の何パーセントにあたるのか。

回答㉕：100%になる。

質疑㉖：米の重さを体積にした場合どうなるのか。

回答㉖：一升は、1.5kgで計算している。

質疑㉗：給食費の集金方法はどのような状況か。

回答㉗：牟礼東小学校が現金で、その他は振替となっている。今、公会計化等について小学校統合準備委員会の総務部会で検討している。今後、牟礼東小学校で保護者アンケートなどを行い、平成29年度中に方向性を出していきたい。